

これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

- 【しめきり】 1月13日(金)必着
- 【あて先】 〒783 南国市大浦甲二二〇一 南国市企画課 親子クイズ係
- 【賞品】 正解者の中から抽選で5人の方に図書券を進呈
- ◎第27回親子クイズの答えは、肉まん(中華まん)でした。
- 第27回当選者発表(敬称略)
- (応募総数24通)
- 栗田寅太郎 (大浦)
- 西岡美加 (緑ヶ丘)
- 池本知世 (藤原)
- 山田 薫 (福生)
- 中山恵津子 (上末松)

☆思い出がいっぱい☆

◆店頭には、肉まんのはいったケースから誘気があがっているのを見ると、冬になると思いますが、つい、食欲も出てきたりして……関西の方はプクマンと言いますが少しはすかしいので「肉まん」と私は呼びます。

◆学生時代新京橋の、味のデパートで、ぬくぬくの肉まん(豚まんだったかしら?)を買って、中央公園あたりで食べました。今のように久保田やヤマザキ、ましてや冷凍の肉まんなどはない時代でした。

◆また学生の頃、学校帰りに買って帰っては、母に「こはんだから後にしなさい」と言われ、炊飯器の中に入れて保温した事でした。取りだすとこはん粒がついていたり、風味が変わったりといった記憶がありますね。

◆またまた中華まんの季節がやってまいりました。中華まんといえは、塾の帰りに、みんなが近くのお店に寄ってよく食べました。寒い風にあたりながら食べるので、特においしく感じるんです。冬は肉まん食べる為、塾に行っていたようなものですよ。



clubクラブ

大湊小 科学クラブ

「楽しい物作りを通して、子どもたちに少しでも科学に興味を持ってほしい。そうすれば、自然の法則などが身について、世界が広がるのでは……」と言う松木由貴美先生の指導のもと、現在13人のメンバーで活動中。中には続けて2年目という部員もいて、にぎやかで楽しそうな様子。

おじゃました日は、ビー玉を使った万華鏡作りにチャレンジ。材料を手に取り組む目は真剣そのもの。手作りの万華鏡をのぞいた部員たちは、「難しかったけど面白い、きれい」と、ビー玉と鏡が作る不思議な模様で歓声を上げていました。

この科学クラブ、他にもドライアイスとジュースを使ってシャーベットを作ったり、洗濯のりなどからスライムを作る実験など、楽しい実験を行う予定です。

芸術の秋 文化の秋

盛大に文化祭

十一月は文化祭のシーズン、市内の各学校でも、工夫を凝らした文化祭が盛大に行われたことでしょう。

香前中学校では十三日に「温故知新」をテーマにして、恐竜の世界、古代エジプト、また、阿蘇山についてなどの研究発表をこころ、文化部の発表や、全クラスが参加しての合唱コンクールがあったり、秋の一日、みんなが団結してすばらしい文化祭となりました。



▲1年から3年まで、すべてのクラスが参加して行われた合唱コンクール。休み時間や放課後のわずかな練習時間にもかかわらず、各クラスみごとな団結力ですばらしい歌声を披露してくれました。



▲合唱コンクールの審査員。熱心に歌う生徒たちを審査する目は、自然と真剣なものになります。

みんなの

▼観客席も一体となって、すばらしい舞台発表が行われました。合唱コンクールの結果発表では最優秀賞のクラスから歓声が上がり、生徒たちの真剣な取り組みをかいま見たようでした。



▲英語部員による英語でのスピーチ。日ごろの成果を発表します。



準備の時間が十分になかったにもかかわらず、各クラスの展示はかなりのできばえ。



休日も多く生徒が準備にきていたそうです。

われらサークル仲間



手づくり人形サークルを紹介しします。

大浦にあるアトリエで、メンバー16人が週1回人形作りをしています。指導している池知操さんによると、人形作りはかなり細かく、根気のいる作業。満足いく作品ができるまで、個人差はあるものの、2年くらいかかるそうです。

恒例となっている郵便局での展示会では、作品を譲って欲しいと頼まれることもしばしばあり、なかなかの好評。

アトリエに集まるメンバーは、みんな人形が好きで市のみならず、遠くは佐川町から来ている人も、今年7月から始めた野市町の細井さん、葛目さんによると「先生が丁寧に教えてくれるので張り合いですね。週1回が存ち運しいですね」とのこと。アトリエは作業場の他に井戸端会議場にもなっているようです。